

下根ヶ丘行政区の「みんなのビエンナーレ展 2015」 訪問記

下根ヶ丘行政区の第1回「みんなのビエンナーレ展 2015」が11月23日（月）～29日（日）の7日間、下根ヶ丘自治会館で開催されました。私たち住民交流チームでは「たまり場づくり推進プロジェクト」の参考にと、11月27日（金）に会場である下根ヶ丘自治会館を訪問しました。

以前は文化祭と称して、同様の催しを実施していましたが、「たまり場」活動が始まり、サークル活動が一段と活発化してきました。そこで、たまり場ボランティアが主体となり、下根ヶ丘行政区がバックアップするという形で、名称も「みんなのビエンナーレ展」と洒落た名前に改称するとともに、規模も7日間と拡大しての開催となったとのことでした。

行政区の文化祭は通常2～3日開催が多いのですが、7日間の長期間・・・に私たちは興味を持ちました。

会館内は会場一杯に飾られた作品の数々、書、絵画、彫刻、俳句、短歌、手芸、陶芸等等100点以上、これらは、どの文化祭でも見られる光景です。しかし、月曜から日曜日までの7日間、会場となっている会館で活動しているサークルを毎日1～2つ紹介をしているとのことでした。とても素晴らしい企画だと感じました。

私たちが訪問した27日はサークル「みんなの歌」の日で、35名程が集まり童謡、唱歌、民謡、演歌、とお腹の底から声出し楽しく合唱しておりました。歌っている皆さんの表情が明るく、とても印象的でした。



7日間の訪問者は約600名、他地域からの訪問者も約100名に上るとのこと、文化祭を主催したたまり場ボランティアの皆様、それを支えた行政区長をはじめ役員の皆さんに拍手を送ると共に住民交流チームの今後の活動に参考にさせていただきたいと思っています。有難う御座いました。